

訓練科目、時間数および教科の科目とその細目

(米原校舎)

訓練課程	普通職業訓練 短期課程			対象者	離転職者等	
訓練科名	溶接エンジニア科	区分	A	就職先の職務	溶接工、製缶工	
訓練期間	6ヶ月	訓練時間	648時間			
訓練目標	被覆アーク溶接や炭酸ガスアーク溶接・TIG溶接およびガス溶接などの一般溶接作業に関する技能・知識の習得					
仕上がり像	被覆アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接、TIG溶接およびガス溶接、ガス切断ができる。 産業用ロボットのティーチングができる。 溶接材料の選定および溶接条件の選定ができる。 JIS溶接技能者評価試験の基本級程度の溶接ができる。 鉄工作業にかかる手工具・機械の取扱いができる。					
訓練の内容	教科の科目	教科の細目			訓練時間	
訓練の内容	実技	工作基本実習	工作法一般、測定基本、手仕上げ作業、研削といし取替え			42
		ガス溶接実習	ガス溶接、ガス溶断、関係法令、安全衛生			54
		被覆アーク溶接実習	ビード置き、下向き隅肉、中板突合せ、水平隅肉、薄板溶接			108
		炭酸ガスアーク溶接実習	ビード置き、下向き隅肉、水平隅肉、中板突合せ、薄板溶接、構造物 鉄工、溶接材料、試験と検査、安全衛生			150
		TIG溶接実習	ビード置き、各種縫手溶接（重ね縫手、角縫手、T縫手）、薄板突合せ、溶接材料（ステンレス、アルミニウム）、試験と検査、安全衛生			150
		産業用ロボット実習	操作方法、安全衛生、関係法令、溶接条件選定			54
		溶接総合実習	工作基本、ガス溶接、被覆アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接、TIG溶接、産業用ロボット、全姿勢溶接			60
		デジタルリテラシー	関連知識とオフィスソフトウェア操作			30
備考	「工作基本実習」に「自由研削といしの取替え等の特別教育」の、「ガス溶接実習」に「ガス溶接技能講習」の、「被覆アーク溶接実習」に「アーク溶接特別教育」の、「産業用ロボット教示実習」に「産業用ロボットの教示等特別教育」の科目の内容および時間を含む。					648